

ただの売り買いではなく
環境に配慮し、誰もが幸せになることを願って
作ったり、売ったりする人たちがいる。
買うことでつながる、心を感じるお買いものをしませんか♪

かかし 案山人

「無から有を生む」
無農薬・有機栽培。
これぞ農業！



商店街のやまぐちさん前で野菜を販売している、『案山人』の高橋さん。週4回、阿東からやってきます。どの野菜も採れたて新鮮！
「どれがおいしいのー？」
「大根はどうやって干したらいいかねー？」
取材中、ひっきりなしに訪れるお客さんが、いろいろなことを尋ねていました。わからないことは、聞いてみよう。
商品についての白いラベルには、農業と化学肥料の使用回数と生産者名、生産地が記入されています。オレンジ色のラベルは、無農薬・有機栽培をあらわします。顔は見えないけれど、高橋さんを通して、生産者と消費者はお互いを感じることが出来ます。
「農業を支えて、地域を守っている農家は高齢で、なかには90歳近い人も。その現実を、よく噛みしめてほしい。農業は使うもの、という、農家の意識も変えていきたいね～」と高橋さん。

やまぐちさん前で出張販売
☎ 090-9571-8022
🕒 7:00～お昼くらい
📍 火・水・木・土曜日に営業
🅐 周辺有料P有り



わっか屋

人と地球が喜ぶ暮らしを
提案するお店



古い民家を改装した、なんだか懐かしい雰囲気のあるお店、『わっか屋』。お店に入ると店主の角さんが選んだ、自然環境を大事にした心や体に優しい食品や衣料雑貨などがたくさん並んでいます。
「私たちが普段食べたり、着たり、使っているものたちは『誰が、どこで、どのようにして』作られたんだろう？そういうことに想いをさせてもらえるよう、作り手やものの背景を伝えていくことが私の役目。作る人の喜び、買う人の喜びが循環できるといいな。わっか屋という名前にはいろんなわ”和、環、輪”でつながっていききたいという思いがこめられています」
お店の2階で、お味噌作り、ふんどし作り、暦のワークショップなどの講座も開かれます。今後の予定は『わっか屋新聞』やブログ『わっか屋日記』をチェックしてみてください。

山口市金古曾町1-9
☎ 083-932-7880
🕒 11:00～18:00
📍 火曜日定休
🅐 3台
🌐 <http://waccaya.soreccha.jp/>



あなみ

あつまった なかまが
みをむすぶ。



週1回、木曜日だけ営業しているレストランがあります。20食限定、500円の日替わりランチがお店のメニュー。手作りのやさしい味で、心もふっとあたたかくなります。地域の人たちと、一緒に使われていけばいいなあ。みんなでいいものにできるといいなあ。そんな気持ちで、昨年9月にオープンした、コミュニティレストランです。レストラン、展示スペース、はまた地域の集会所にと、その利用方法は無限大。いろいろな可能性を秘めています。
障がいをもつ方々を支えるNPO法人ラブコミュニティライフの運営で、普段は作業所で働いている利用者みなさんも、実際にスタッフとして、調理や接客などを担当して働いています。お客さんに、「おいしかったよ、ありがとう」と言われたり、常連さんに「またきたよ」と声をかけられたり。そんななか、楽しくやりがいを感じながら仕事をしているみなさんの姿が、印象的でした。予約がおすすぬ。普通の民家です。看板を目印に、探してみてください。

山口市天花1丁目11-15
☎ 083-941-5597
🕒 11:30～14:30 (LO 13:30)
📍 木曜日のみ営業
🅐 5台



こうぼうちゃ 弘法茶(カワラケツメイ茶)

徳地の人々に愛され、
ブランド特産品に成長中！



徳地の名産、弘法茶をご紹介します。カワラケツメイという草葉を使った健康茶で、昔から親しまれてきました。
このお茶で地域を活性化しようと、平成19年にとくち健康茶企業組合が発足。休耕田をもつ農家の方々と契約栽培を結び、生産を増やしてきました。
無農薬・無化学肥料にこだわり、この方法で栽培された商品のみに与えられる「エコ100」の認定を受けています。ポリフェノール値がより高くなる天日干しを行うなど、大切に扱われ、その価値を高めています。
弘法茶(100g 350円)は、番茶のように香ばしく飲みやすいです。ティーバック(16袋450円)もあり、ドクダミや柿葉などが入ったブレンド茶、里の八草茶(450円)も人気です。
『特産品ショップやまぐちさん』や徳地の『南大門』などで購入できます。

特産品ショップやまぐちさん
山口市道場門前1-3-16
☎ 083-934-9120
🕒 10:00～18:00
📍 不定休(基本的に第1水曜日)
🅐 周辺有料P有り



3名様



3名様



3名様



5名様

「クロスワードパズルを解いてこだわり商品をもらおう」



創刊記念太っ腹企画！ 詳しくは4pプレゼント応募要項をご覧ください。



ハートリンクプロジェクト から広がる世界。



ハートリンクプロジェクトって何？

地域や誰かのために何かしたいと思った人たちが、
すでにその活動をしている団体に、気軽に「体験入門」するというもの。
「市民活動支援センターさぼらんて」が平成21年度に1年かけて行ってきた事業です。

受け入れ団体は「Yan(山口アートネットワーク)」「山口の街並を溜物で歩こう会」「NPO法人ひつじの会」「肉球生活向上委員会With Wan」「NPOコミュメディア」の5つ。参加者は8名。大学生からお孫さんがいらっしゃる方まで、幅広い年齢層の方に集まっていたきました。



参加者 Interview

ハートリンクプロジェクトに参加された
原秀昭さんにインタビュー。
原さんは、今まで小学校を通じて地域活動をされてきました。
その苦勞や楽しさ、この企画に参加された理由などについて話を伺いました。



原 秀昭

はら・ひであき / 47歳。山口市出身、在住。野田学園高等学校卒業。現在、農林水産省中国四国農政局に勤務。足掛け10年ほど、さまざまな形で地域や小学校と関わり続けている。3人姉妹のよきお父さん。

原さんの地域ふれあい活動の記録

- **1年目**(平成10年)
長女が5年生のときにPTA役員になる。
- **2年目**(平成11年)
PTA副会長に就任。
- **3年目**(平成12年)
PTA会長に就任。3期連続で務める。同時に「おやじの会」(良城小学校のお父さんの会)に入会。平成22年2月現在、会長4年目。
- **5年目**(平成15年)
「学校林活用委員会」(学校・PTA・地域が協力して、学校林をよくしていこうという組織)が発足。以来現在まで会長を任されている。
- **12年目**(平成21年)
さぼらんて事業「ハートリンクプロジェクト」に参加。
- **現在**(平成22年)
上記事業で出会った「Yan」に入会。

● PTAにはじまって、いろいろと活動されてるんですね。(同ページ左下枠参照) その内容について教えてください。

原 「おやじの会」ですが、一番大きいイベントは夏休みのキャンプですね。親子の希望者を募って学校の敷地内でやるんですよ。バーベキューをして、夜の学校探検をして、体育館に泊まるっていう。子どもたちも大喜びですよ。それから「学校林活用委員会」。学校所有の山があるんですけど、そこが悲惨なぐらい荒れてしまっていたので、手入れをしようということになったんです。間伐は森林組合にお願いしましたが、道などは自分たちで整備しています。池に沿ってウッドデッキを作ったんですが、昨年7月の豪雨で流されてしまつて、また一からやり直しになったり。

● 大変そうですけど、それ以上に楽しまれているんですね。

原 みんなでつくり上げ、楽しんでいるうちに、いつの間にか出来上がっている。最高ですよ！子どもたちには、大人たちが夢中になって取り組む後姿を見せて、何かを感じてもらえたら嬉しいですね。

● 「さぼらんて」で行った「ハートリンクプロジェクト」(上記参照)にも参加されましたね。

原 末っ子がこの春(平成21年度)で小学校を卒業するので、新しい出会いを探そうと思つたんです。PTAもそうなんですけど、きっかけがないと入れないですよ。一生懸命仕事をしながらも、地域とのつながりをもつことは、大切だと思います。「おやじの会」に入つてよかつた。

たのは、異業種のお父さんたちと顔見知りになり、仲間になったことなんです。

● 春ですし、何かをはじめるにはいい季節ですね。

原 社交的でなくてもとりあえず表に出たほうがいいですよ。私の場合は職場と地域活動が両輪になっています。できるときにできることをやるというスタンスで。ある方の言葉で「社会参加は肩肘張つてやるもんじゃない。良い加減にやるもの」とありましたが、それぐらいいいと思いますよ。

● 市民広報記者より

ハートリンクプロジェクトで原さんがチャレンジしたのは、山口の文化活動を応援している「Yan」と、知的障がい者も地域で自分らしく暮らせるように応援している「ひつじの会」です。「Yan」では子どもたちと一緒に缶バッチを作ったり、ひつじの会では大学生ボランティアとともに、お好み焼きやギョウザを作ってみるまでバーベキューを開いたりしました。現在原さんは「Yan」に籍を置いて活動を始めました。

ハートリンクの出会いがきっかけで人と人とながつながっていく。こんな素敵なプロジェクトに立ち会えてよかったです。



『明日のわたしへ』

そんな人生 あったって
こんな人生 あったって
ええやん! ええやん!
人生なんて 十人十色
きらきら楽しむ ええやんライフ!

創刊記念
たっぷり腹企画あります!

創刊号。

ええやんプロフィール Vol.1

誰かのために 何かのために
いきいきと楽しそうに取り組む人たちがいる。
それも 特別ではなくて
わたしにもマネできるような人。
そんな人を 敬意をもって
『ええやんビーブル』と名付けました。



「すろーふーどらいふ山^{のどか}口ネット^{のどか}和」代表

「すろーふーど交流の家母屋」主宰

白木美和さん
Shiraki Miwa



お手製の看板。
自然に溶け込みすぎて
少し見つけにくいのはご愛嬌。



美味しく炊けます。
毎日バーベキュー気分。

白木美和

しらきみわ / 福岡県出身。山口市在住。夫・長女・次女・ヤギ(ワーチャ)の5人家族。「すろーふーどらいふ山口ネット和(のどか)」代表。「すろーふーど交流の家母屋(ままや)」主宰。「NPOコミュニティ」事務局長。病気をきっかけに、スローフードに目覚め、自然のありがたさを実感。シンプルなくらしを求め、現在に至る。

活動・機関紙発行(奇数月)、母屋オープンハウス、楽童くらぶ、味噌づくり講習会など
連絡取次窓口:山口市市民活動支援センターさぼらんて 受付 TEL:083-901-1166 HP『すろーふーどらいふ』で検索

『のどかな暮らし講座 〜エコライフのレシピ〜』
開催日時:平成22年4月30日(金)10:00〜12:00
参加費:700円 材料代:400円
*詳細はのどかHPにてご確認ください。



白木さんが代表をつとめる『すろーふーどらいふ山口ネット和』は、家庭の中の食を見直そうと、平成14年から活動している団体です。

山口市宮野、国道262号線を横目に少し入ったところに、築60年の日本家屋『すろーふーど交流の家・母屋』はあります。

「本当に楽しいんですよー!」
衝撃を受けている私たちに、たたみかけてくる笑顔なのです。

「すろーふーど交流の家・母屋」はあります。

リモコンひとつでいろんなことができる、キッチンにいながら風呂がわかたり、わたしたちのくらしは驚くほど便利なものになりました。そんな現代社会で、あえて「不便」な生活を送っている方がいます。パワフルに活躍されている白木さんに、お話をうかがってみました。

「難しく考えることではないんです。季節を楽しむ、自然のものを食べればいいだけ。不便は楽しいもの!逆に便利なものほど、ふりまわされています。携帯電話もそう。いまはね、電子レンジもほとんど使わないんですよ」
ちなみに、これまで減らしてきたものは、エアコン(夏の電気代が15、冬は火鉢、ガス(できる時は、外で煮炊き、ヤギが食べた後の枝が燃料)、洗剤(洗濯は塩で炭でこそう)。

それは、料理にも表れるのでしょうか。この日、ご馳走になったお昼ごはん、外で炊いたごはんもちろんのこと、どのおかずも、ほんとはほんとに、シンプルでおいしいものばかりだったのです。少し前までは当たり前だったはずの日々の営み。どこか懐かしい、この感じ。ごちそうさまでした、と、自然と手を合わせたくなる、そんな白木さんとのひとときでした。



◆市民活動をたくさんの人知ってもらうために!

- 『ええやん新聞』の発行(年2回)***市民広報記者による、市民の新鮮な目線で市民活動・まちづくりを伝えていきます。
- 『さぼらんてだより』『ぶちさぼ』の発行(毎月)***山口市の市民活動の紹介やこれから市民活動をはじめようと思っている人たちへのお役立ち情報です。
- ハートリンクサロン(5回開催)***毎回市民目線の新しいしくみにトライしている素敵なまちづくり人を囲んでトークサロンをします。
- ホームページによる情報提供***市民活動をしている、これから始めたい人、市民活動がなんなのかわからない人も楽しめる内容です。
- 市民大交流会***2011年1月開催予定。市民団体の映像を見ながら交流します。

◆活動充実のために! (以下のサービスは事前に団体登録が必要です)

- 団体持ち込みイベント***市民団体が、事業の実施、活動の普及・啓発のために、独自のミニイベントやバザー、講座等を開催できるよう「さぼらんて」の場を提供します。
- 団体への連絡取次窓口***講座やイベント開催の参加申し込みの受け付けを、仕事などの都合で日中の対応ができない場合に申込先として「さぼらんて」が受付を代行することができます。
- 市民活動電子図書館で活動を広くPR***さぼらんてのHPの中の市民活動電子図書館で活動をPRすることができます。
- さぼらんてだより同封送付サービス***広報したいチラシ等をさぼらんてだよりに同封して送付できます。
- 機材の貸出し***活動に必要な場合、ハンドスピーカーやプロジェクターなどの機材を貸出します。

◆組織を骨太にしていくために!

- 活動紹介映像づくり***活動紹介の本格的映像づくりを行います。プロのサポート、市民の巻き込みですます元気な活動展開の予感。
- 相談***未来を創っていく市民活動に見本や手本はありません。市民団体の問題解決能力を高めていくためにも、組織運営や活動の進め方、助成金の申請、普及啓発など共に考えていく姿勢を大切にに取り組んでいきます。
- NPO情報の発行(年6回)***NPO向けの広報紙です。社会的責任の果たせる組織作りに向けてのお役立ち情報です。
- おでかけさぼらんて***市民団体の基盤強化のためのNPO学習や団体運営の課題を整理するお手伝いなど、団体の勉強会に職員等を派遣します。



昨年の4月に山口市協働のまちづくり条例が施行され、協働推進プランもスタートし、市民や市民活動の社会における位置づけや責任もより明確になりました。さぼらんては誰もが安心して暮らせる山口市に向けて、自ら気づき、考え、行動していく市民団体が生き生きと活動展開ができるように支援をしていきます!

【おでかけさぼらんて基本メニュー】

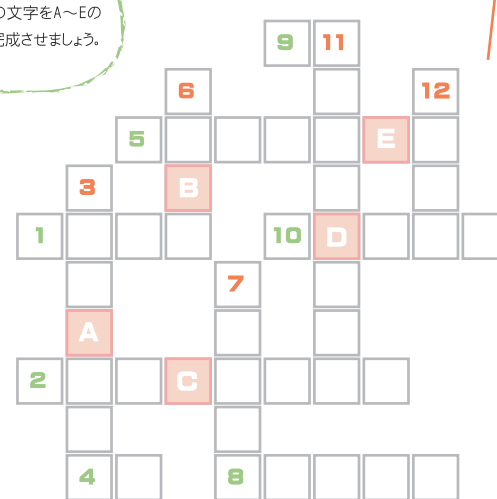
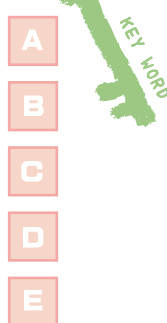
- ▶ NPO講座(NPOの意義やこれまでの流れについて)
- ▶ NPO法講座(NPO法そのものの理解)
- ▶ NPO法人格取得講座(NPO法人取得手続きについて)
- ▶ 定款・会則作成講座(組織編成も含めて、会にふさわしいルール作成について)
- ▶ その他、事業計画作成、事業報告作成、会計編成、経理処理、文書処理、助成金申請など、団体の要望により編成しますので、気軽に相談してください。

山口市市民活動支援センター「さぼらんて」とは?

平成13年12月に官設民営型(行政設置・民間運営)で山口市の中心商店街にオープンしました。今年の12月で満9歳になります。みなさんは普段、「あれ?これって不便だ!」こうした方がもつといいのに!「近所で困っている人が安心して生活できるように何かしたい!」と思うことはありませんか?気付いたことをきっかけに、自分たちで考え、行動していくのが市民活動なのです。さぼらんては、そんな、暮らしやすいまちづくりを目指して、「今」を頑張っている市民団体と、今から活動して行く人を応援している拠点施設なのです。まずは、「さぼらんて」へ!そこから新しい一歩へ!



緑数字問題は横、赤数字問題は縦に答えを記入してください。■の部分の文字をA〜Eの順番に並べて、キーワードを完成させましょう。



- 1 山口市の木はなに?
- 2 山口市出身の詩人。汚れちまった悲しみに
- 3 桜やホテルが有名。山口市を流れる川。
- 4 徳地の名産品。手すき○○。
- 5 雪舟が作ったというお庭。宮野にあります。
- 6 周布政之助や桂小五郎が生活したといわれる「十朋」亭。何と読む?
- 7 1市4町の合併を記念して考案された新名物。○○○○鍋。
- 8 五重塔。梅や桜もきれいです。
- 9 山口の方言。たくさん、などの意味。
- 10 小郡にいたこともある、漂泊の俳人。
- 11 阿東の名所。紅葉で有名。
- 12 みんな知ってる山口銘菓。

プレゼント応募要項

3Pで紹介したショップからおすすめ商品を抽選でプレゼントします。官製ハガキに①クロスワードパズルの答え②希望する商品名③郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号④『ええやん新聞』の感想・要望を明記の上、ご応募ください。ご記入をいただいた個人情報、商品、サービスをお届けするために利用し、その目的以外での利用はいたしません。

- 宛先は、〒753-0047 山口市道場門前1-2-19山口市市民活動支援センターさぼらんて「ええやん新聞プレゼント」係。●締め切りは2010年4月末日(当日消印有効)。
- 当選者の発表は、当選ハガキの発送をもってかえさせていただきます。

創刊記念
たっぷり腹企画

「クロスワードパズルを解いて
こだわり商品をもらおう」



次号は10月発行予定です。お楽しみに!